

第1回 伊丹市総合交通会議 会議録

- 1 日 時 令和元年6月28日（金）10：45～
- 2 場 所 伊丹市役所 議会棟 3階 議員総会室
- 3 出席者 **【委員】** 敬称略
秋山孝正、高橋愛典、川崎道子、竹留義廷、當野博照、水田節男、五十嵐一俊、大池津由美、片岡大蔵、梅澤浩二、野津俊明、野口一行、須磨昭文、菊地信彦、菅沼幸江、三宅豊文、古川仁、森脇義和
（欠席委員）奥野雅弘、高野敬二、岩野住之
【事務局】
交通政策室長 河南 佳孝、交通政策室主幹 宇高 正晴、
交通政策室主幹 阪上 博之、交通政策課長 大宮 優、
交通政策課主査 猪原 光弘
- 4 次 第
 1. 開会
 2. 副市長あいさつ
 3. 委嘱状の交付
 4. 定足数の確認
 5. 会長及び副会長の選出
 6. 諮問
 7. 委員及び事務局職員の紹介
 8. 議 題
 - （1）会議録署名委員の指名
 - （2）会議の公開と傍聴要領
 - （3）伊丹市総合交通会議の取り組み
 - ・会議の概要と部会の設置
 - ・総合交通会議の取り組み状況
 - ・計画策定時からの状況変化と今後の方向性
 - ・運営要領
 9. 事務連絡
 10. その他
 11. 閉会

1 開会

2 副市長あいさつ

3 委嘱状の交付

4 定足数の確認

5 会長及び副会長の選出

会長に秋山委員、副会長に高橋委員が選出された。

6 諮問

資料5のとおり、諮問された。

7 委員及び事務局職員の紹介

8 議題

(1) 会議録署名委員の指名

会議録署名委員に森脇委員と須磨委員の二人が指名された。

(2) 会議の公開と傍聴要領

当該会議を公開すること、および資料6のとおり傍聴要領を定めることが了承された。

(3) 伊丹市総合交通会議の取り組み

・会議の概要と部会の設置

資料7、資料8に基づき、事務局から説明がなされた。

・総合交通会議の取り組み状況

伊丹市総合計画に基づき、事務局から説明がなされた。

○委員

私は各地域の老人会の皆さんの意見をまとめます。その中で、世間では高齢者の交通事故に着目して「免許返納」が言われます。一方で、猪名川から東側は交通の利便性が非常に悪いです。昔は伊丹駅から産業道路、若しくは猪名川沿いの堤防を通過して下河原までバスが運行していました。現在は市バスが1日に7便～8便くらいしかありません。伊丹駅発16時59分が最終です。この地域の高齢者は車が手放せない。過疎地と比べると確かに大都市ですが、利便性を高める意味で、コミュニティバスの運行を期待しています。高齢者ばかりではなく、若者も結構多いです。高齢者は免許更新時、事前に自動車学校で認知度等のいろいろなテストや講習を受けないといけません。ところが、半年以上前に申し込んだところでも、受講可能施設が少なすぎて免許の切り替えまでに間に合わないというようなことが結構あるため、老人クラブの取り組みとして、県老連を通じて兵庫県の警察署に要望を出しています。それら、あらゆる方面から高齢者の方も含めて地域の皆さん方が住みよい町づくりというのをもう一度、底辺から見直していただきたいと思います。

○会長

今のご意見に、事務局からでも何かございますか。

○事務局

伊丹市は、鉄道から歩いていけない地域が、だいたい8割くらいを占めていますが、それを路線バスでカバーをするような交通体系をとっています。ただ、おっしゃるように、バス停から300m以上離れている地域がたくさんあります。この会議ではこういった地域で高齢者が移動するのにどうすればいいのか、というようなことも含めて検討していただき、そういった施策も盛り込んだ計画になればと思っています。

○会長

コミュニティバスみたいなのは、伊丹市では整備されていません。これからの課題です。民営のバス、公共交通でもむずかしい。基本戦略2-③のユニバーサルデザイン（バリアフリー化）の概念は、すでにすこし古くなっています。高齢者もいろいろな移動手段があり、バリアフリーといっても、介護・福祉の視点から、車椅子等の移動も含めてどのようなまちづくりをするかということです。バリアフリーの概念では、バリアがあるから便利にする、低床バスを導入して乗りやすくするというものでした。今はそういうことではなくて、高齢者のモビリティとかアクティビティを上げていくための、見直しの必要があります。他にご意見はありますか。本日の資料では主な施策があまり書かれていない項目もありますが、これも今後また考えて増やしていったらいいと思います。

○事務局

この後、今後の方向性を説明する予定にしています。主な施策のところを今回、重点的に検討していただき、他に施策があれば、追加していただいたら結構です。

○会長

では、そこのご説明はよろしいですか。繰り返しますが、現在の施策体系のところのご説明がありました。ちょっと古くなっているところもあります。よろしいですか、はい。

・計画策定時からの状況変化と今後の方向性

伊丹市総合計画に基づき、事務局から説明がなされた。

・運営要領

資料9のとおり運営要領を定めることが了承された。

○会長

今日は第1回目ですので、あまり細かい内容というより、全体をどういうふうに進めるかというご説明だったと思います。具体的な個別の議論については

次回以降ということになると思います。8の議題の項目は全部やらせていただきました。全体を通じて副会長の高橋先生の方から気が付かれたことがありますたらお願いします。

○副会長

副会長を仰せつかりました近畿大学の高橋です。もう、お昼休みに入っているので手短かに参りたいと思います。冒頭に副市長がSFのような交通の世界が実現しつつあるというお話をされておられました。例えば、自動運転とか情報技術とってスマホを活用したMaaS、「モビリティ・アズ・ア・サービス」といった言葉が最近は一般的にマスコミとかでも使われるようになってきました。一方では、この計画、また我々がこれから進めていく見直しというのはそういったものも視野に入れながら、従来型の自転車とか公共交通といったものをより便利にしていく、そしてその次の時代に橋渡しをしていく役割が求められているというふうに思っています。自転車等は随分原始的というか、そういうイメージがあるかもしれませんが、最近、学生の卒業論文とか見ても自転車交通に対し凄く興味が集まっているという感じがいたします。それから、公共交通に関しては、伊丹市は公営バスが今も健在である。先ほど、ちょっと議論で出たようにコミュニティバスのサービスといったものがない分、市バスをどう活用していくかといった話も視野に入ってくるのではないかと思っています。更に伊丹市の場合、安全・安心という従来から治安が良いということが謳われてきましたけど、それを交通の面でも、先ほどありましたが自転車事故の問題を解決することで、安全・安心についても更に市全体として交通の面でも貢献していくことが求められているのではないかと考えています。他にもいろいろテーマが沢山あって、これから部会等で検討していくということになりますけど、今日はそういった検討を進めていく上での整理だと考えています。ざっとですが、私から以上です。

9 事務連絡

10 その他

11 閉会